

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあつては名称) 三菱瓦斯化学株式会社	住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒 100-8324 東京都千代田区丸の内2-5-2三菱ビル
----	---------------------------	----	--

本票作成 部署名：三菱瓦斯化学株式会社 水島工場 研究技術部

主たる業種	分類コード	16	業種名：化学工業
-------	-------	----	----------

事業の概要
キシレン類の異性化・分離及びその誘導体の製造。

県内の 主な 工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	水島工場	倉敷市水島海岸通3-10

特定事業者の該当要件
 ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 ③CO₂換算3,000t以上
 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)

温室効果ガス 排出量	基準年度 (令和 2 年度)	(令和 3)年度排出量	目標年度(令和 5 年度)
	224,355 t CO ₂	219,151 t CO ₂	217,032 t CO ₂

主な工場等 の排出量	番号	工場等の名称	(令和 3)年度排出量
	①	水島工場	219,151 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の 達成状況	計画期間： 令和 3 年度 ～ 令和 5 年度 (3 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(3)年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	10.7 %	3.3 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準 の削減目標を 選択している 場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 製造業として事業拡大縮小等もあり、コントロール できる数値として生産数量を採用し、GHG排出 量/生産数量=原単位で算出している。	原単位当たり排出量		
		基準年度	(3)年度	目標年度
		0.463 t CO ₂ /(t)	0.413 t CO ₂ /(t)	0.447 t CO ₂ /(t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク 指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和 3 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

令和3年度は世界中で蔓延したcovid19の影響も落ち着きを取戻して市況が回復した。前年度と比較して生産数量が上昇して約9.4%増加したこと、および原単位あたりの二酸化炭素排出量割合の高い装置の停止や個別改等における不断の努力に伴い、温室効果ガス排出量が前年度比約2.3%減少したことに加え、削減目標基準としている温室効果ガス原単位も前年度比約10.7%改善した。令和3年度は3カ年計画の最初の1年目となるが、目標原単位削減率3.3%に対して目標は達成された。しかしながら引き続き温室効果ガスの排出量自体の削減に努めていくことは我々の責務であるため、継続的に温室効果ガス原単位を削減するべく、今後も省エネルギー活動を確実に実施していく。

【推進体制】

工場のエネルギー管理体制にて、全社的なGHG削減目標/RC目標に基づく目標設定を行い、個々のテーマについてはTPM活動における省エネルギー(個別改善)において取り組んでいる。特に個別改善活動は、本社および他工場の関係者を含めた年に2回の活動報告会を行い、進捗や成果を全体で共有できるようにしている。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
水島工場	<p>主力製品のキシレン類の異性化・分離のプロセスに関しては、『省エネルギー化』のプロセスの検討をしている。</p> <p>工場としては、プロセス側としては個別改善活動を通じ、装置の省エネルギー化の個別改善を継続的に進めている。令和3年度は、テーマ毎積算で約1,400^t-CO₂/年の削減を達成した(蒸気の有効活用、運転最適化等)。</p> <p>また、現在取り組んでいるテーマとして、下記項目がある。</p> <ul style="list-style-type: none">① 蒸留塔運転最適化による蒸気使用量削減② プロセスコンプレッサー運用の最適化に伴う使用電力量の削減③ プロセス改善に伴う使用ユーティリティの削減 <p>加えて、令和3年度には電力販売会社と交渉を行い、再生エネルギーを考慮した電力の調達令和4年度より可能となり、更なる二酸化炭素排出削減に繋げられることになった。</p>

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--